

# 4月

## 新着本の紹介



青字は児童書

予約の受付は、配架する**4月1日、午後1時**からです。

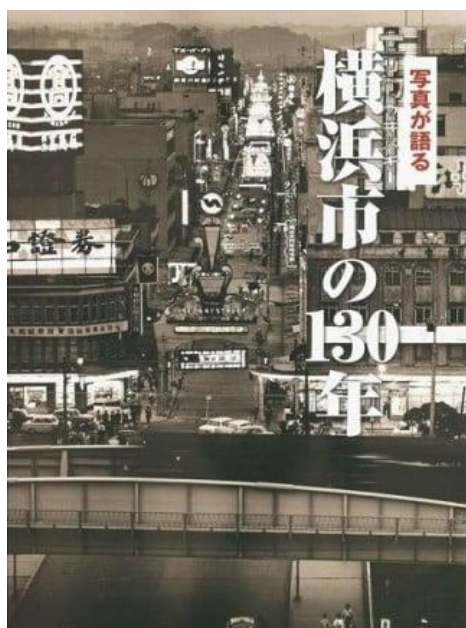
書名	著者名	内容
ノースライト	横山 秀夫	横山ミステリー史上、最も美しい謎。熱く心揺さぶる結末。『64』から六年。一級建築士の青瀬が設計した新築の家。しかし、Y邸に越してきたはずの家族の姿はなく、一脚の「タウトの椅子」だけが浅間山を望むように残されていた。Y邸で何が起きたのか？ 一家の行方は…。 待望の新作長編ミステリー。
死にがいを求めて生きているの	朝井 リョウ	誰とも比べなくていい。そう囁かれたはずの世界はこんなにも苦しい——「お前は、価値のある人間なの？」朝井リョウが放つ、「平成」を生きる若者たちが背負った自滅と祈りの物語
傲慢と善良	辻村 深月	婚約者・坂庭真実が忽然と姿を消した。その居場所を探すため、西澤架は、彼女の「過去」と向き合うことになる。生きていく痛みと苦しさ。その先にあるはずの幸せ——。2018年本屋大賞『かがみの孤城』の著者が贈る、圧倒的な“恋愛”小説。
闇夜の底で踊れ	増島 拓哉	35歳、無職、パチンコ依存症の伊達。ある日、ソーブランドで出会った詩織に恋心を抱き、入れ込むようになる。やがて所持金が底をつき、闇金業者から借り、その窮地を救ったのはかつての兄貴分、関川組の山本だった。伊達の秘められた過去、そして山本が伊達の前に現れた本当の理由が明かされるとき、事態は思いもよらぬ方向へと転がり進んでゆく——。 【第31回 小説すばる新人賞 受賞作】
レフトハンド・ブラザーフッド	知念 実希人	ある事故以来、左手から死んだ兄・海斗の声が聞こえるようになった岳土。2人は殺人事件に巻き込まれ、容疑者として追われるはめに。左手に宿る“兄”と岳土。奇妙な2人の逃避行が始まる—。
木曜日の子ども	重松 清	再婚した妻の連れ子がひどいいじめにあい転校した先は、7年前、給食への毒物混入で無差別殺人事件が起きた学校だった。やがて静かなニュータウンで次々と怪死事件が起こり…。

豊臣秀長 ある補佐役の生涯	堺屋 太一	世に名将・名参謀と呼ばれる人物は数多いが、名補佐役はきわめて少ない。激動の戦国時代、尾張の貧しい農民の出でありながら、野心家の兄・秀吉を天下人たらしめ、自らも“大和大納言”と呼ばれるまでにのぼりつめた男・豊臣秀長。卓越した実務能力と抜群の調整力、非凡な統治能力で、脆弱な豊臣家の体制を支え続けた、日本史上屈指のナンバー2と呼ばれる男の生涯を丹念に描く歴史巨編。
人生は美しいことだけ憶えていればいい	佐藤 愛子	楽天的な性格が苦勞を呼び、その苦勞を何度でも楽天で乗り越えた——ミリオンセラー『九十歳。何がめでたい』著者の元氣が出る人生論。
トーマスまるごと図解ずかん トーマスのなかがみえる！	ウィルバート・オードリー（原作）、クリス・オックスレド（著）	トーマスのボディのなかやしくみがイラストでわかる。パーシーやゴードン、ヘンリーなど人気キャラクターのひみつもわかる。ソドー島地図でトーマスたちの路線がわかる。

※NHKテレビテキスト

「きょうの料理」「すてきにハンドメイド」「きょうの健康」も貸し出ししています。

※「写真が語る 横浜市の130年（いき出版）」配架します！



### 市制施行130周年記念写真集

公募により100人以上の横浜市民から提供された数千枚の写真をもとに厳選された600枚の写真と郷土史の専門家による解説で、明治中期から平成30年までの横浜市の激動の130年のあゆみを振り返ります。